



# めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り  
令和5年 9月行事特集号  
ヨハネスブルグ日本人学校

## JICA 海外協力隊の方々にお越し頂き、国際交流を行いました!



ヨハネスブルグ日本人学校では、年に6回、現地の学校や幼稚園、老人ホーム等と国際交流を行っています。国際交流の目的は、「異文化を理解するとともに他者を尊重する態度を養い、海外から見た日本文化の良さを見つめ直し、国際感覚豊かな児童生徒を育成すること」です。

実際の交流では、日頃、学習している英語を生かして、日本の文化を伝えたり、相手の文化を教えてもらったりします。また、相手校の授業を体験したり、日本人学校の授業を体験してもらったりする計画を進めています。

今回は、私たちが住むヨハネスブルグからは遠く離れ、南アの子供たちを始めとする方々と日々触れ合いながら活躍されている JICA 海外協力隊の方々から直接学ぶ貴重な機会となりました。



南アは、アパルトヘイトの撤廃から約30年が経過しようとしていますが、経済格差や若年層の高い失業率が依然として大きな社会問題となっており、日本からの派遣要請も大変多いと伺いました。

日常生活や職場での様々な問題や苦勞を抱えながらも、南アの子供たちが学ぶ楽しさや将来の夢をしっかりと思い描けるよう、気概をもって取り組まれている方々のお話は、子供たちへ様々なメッセージを届けて頂きました。事後のまとめとして記録したことから、



南アフリカで生活しているからこそ感じるたくさんの「気付き」があり、友達の考えと比べながら自分の考えをもち、さらに一步深めることができました。

今後も国際交流は続いていきますが、将来、世界で活躍する国際人として必要になる宝物を一つ手に入れてくれたことを大変うれしく感じます。

ご来校頂いた隊員の方々、そして全世界で活躍されている方々の活躍を心から願っています。

今回の国際交流の実施につきましては、岡田所長様をはじめ南アフリカ共和国 JICA 事務所の皆様にご多大なご支援を頂きましたことに心より御礼申し上げます。



## 朝マラソン成果発表会を行いました!

9月20日水曜日実施



1学期から取り組んできた5分間走。自分のペースを守りながらも、一人一人が持久力の向上を目指し、頑張りました。ヨハネスブルグが高地であることもあり、子供たちの体力、特に持久力は、かなり向上したようです。一人一人の記録証にその成果が表れています。

応援のため、ご来校頂きました保護者の皆様、ありがとうございました!